JR東労組 本部ＯＢ会 ニュース

東日本旅客鉄道労働組合
東京都渋谷区代々木２丁目２番６号
ＪＲ新宿ビル13Ｆ〒151-8512
Tel. 03－3375-5740（代）
発行責任者　古 川 建 三

№230　2016年７月発行

ＪＲ東労組第32回定期大会
吉川委員長、妥協なき闘いを表明
柳書記長は総連へ、山口副委員長が新書記長に

〃「たしろかおる」とともに「平和な社会」「鉄路の安全」若き仲間と新たな未来を切り拓くＪＲ東労組第32回定期大会が、６月12日から２日間の日程で八王子地本の準備で「パレスホテル立川」で開催されました。

大会には大勢の来賓と共に、本部ＯＢ会からも古川会長と伊藤事務局長が招かれ２日間大会に参加しました。

新たな未来を切り拓いた八王子大会の全景

大会のオープニングは、６年前八王子支社管内で発生した「乗客による傷害事件」と、その被害者のグリーンスタッフ組合員を支援している八王子地本とたしろ議員を取り上げた朗読劇で、大会参加者を感動させました。

吉川委員長が固い決意を表明

挨拶に立った吉川委員長は、

① たしろ応援プロの取り組みを、妥協を許さず貫徹する

② 17春闘は格差ベアを許さず、集中回答日に決着を求める

③ 連続する事故や不祥事の要因の一つに、会社によるマイプロ活動への偏重がある

④ 仙台駅業務の委託問題は、全国の駅員の雇用問題だ

と強い口調で述べ、全組合員に団結を訴えました。

富田社長、「マイプロは大切」

来賓には「たしろかおる」参議院議員や、ＪＲ総連、連合東京、全自交労連などの労働団体の外に、ＪＲ東日本から富田社長が参加しました。富田社長は、吉川委員長の挨拶の内容にも触れて、「駅を中心にして地域を元気にする」「今後も技術革新を進める」「合理化や業務委託を進める考えを示すと共に、「マイプロ活動は、社員の能力をのばす大切なものだ」と主張して、連続する事故の背後要因になっているものを見直す考えのない事を表明しました。

大会は、昭和採から完全に平成採へ

大会の代議員は、30才代と40才代の平成採用者が全体の２／３を占め、昭和採用の代議員は３割でした。また発言者の８割は平成採用の代議員で、今や時代は完全に昭和から平成へと移っている事を物語っていました。また最近女性社員が増えている割には、女性の代議員が少ないように見えました。

32名の代議員から発言

大会の発言は、初日が４名、２日目が28名で全体で32名の代議員が発言しました。

発言の内容は多岐にわたっていましたが、大まかに大別すると、

① たしろかおる応援プロジェクトの取り組み

② 各地で発生している「事故」や「乗務員による不祥事」など、安全問題に関する意見

③ 「16春闘」の取り組みと「17春闘」に向けて

④ 営業職場の効率化と要員不足について

⑤ エルダーの職場確保について等でした。

特に発言で印象深かったのは、本来業務よりインフォーマル活動を積極的に行う社員を優遇する会社の労務施策が「事故多発」の原因になっていると指摘した意見や、駅の業務委託や要因不足が営業職場の深刻な悩みになっているという意見でした。

また「17春闘」に対しては、格差ベアを無くするために「スト権を確立して闘おう」と呼びかけた力強い発言もありました。

新役員体制は、吉川委員長は留任し、先の総連大会で書記長に就任した柳氏に代わって、山口副委員長が新書記長に就任しました。また総括ＯＢ担当には奥山副委員長が、そして森ＯＢ担当に代わって新しく大塚中執がＯＢ担当になりました。

ＪＲ東労組は来年組合結成30周年、また本部ＯＢ会も来年ＯＢ会結成20周年を迎えます。

今後も中央本部としっかり連携を強化していきます。

第９回ブロック別 地本ＯＢ会三役会議開催日程

✧ 上信越ブロック
　８月17日12時～（高崎地本会議室）
✧ 東北ブロック
　８月18日12時～（盛岡地本会議室）
✧ 東関東ブロック
　８月22日12時～（本部小会議室）
✧ 西関東ブロック
　８月23日12時～（本部小会議室）

5地本ＯＢ会で定期総会を開催

水　戸

5月29日13時30分より、「みまつホテル」の会議室で、「第19回定期総会」が44名の参加者で開催されました。

総会に先立ち、テレ朝で報道された古館伊知郎の「ワイマール憲法」のビデオが上映された後、総会は始まりました。

来賓には地本、本部ＯＢ会と、たしろ議員の真由美夫人が参加しました。

総会では「熊本地震カンパ」と「会則の一部改正」が行われ、発言者は5名でした。

- 自民党の憲法改正草案は、ヒトラーを彷彿させる
- 会員以外の退職者にも、たしろの声かけをしている

役員体制は、近年活動を活発化させた鈴木会長が勇退され、栗村副会長が新会長になりました。

新役員体制
会　長
　栗村幸雄
副会長
　狩谷光治
　柳内英道
事務局長
　前野憲治

長　野

5月29日13時より、北中公民館で「第19回定期総会」を51名の参加者で開催しました。

第1部は佐々木政策秘書の「たしろかおるの6年間の活動報告」で、第2部の定期総会の前段で、「熊本地震カンパ」と「杉尾ひでや後援会」加入の取り組みを行いました。

来賓には地本と本部ＯＢ会、県退職者連合の石川会長が参加しました。

発言者は7名でした。

- ＯＢ会は現役との交流が大切だ
- 今後バスの仲間と交流したい
- ＯＢ会には哲学があり、楽しい

第3部は懇親会で、手作り料理の差し入れもあり、「たしろ」と「杉尾」で盛り上がった総会になりました。

新役員体制
会　長
　近藤愛一郎
副会長
　田上憲由
　牛尼大輔
　轟　正好
　萩原　実
事務局長
　清水隆夫

大　宮

6月4日13時30分より大宮総合車両センター食堂で、100名の参加者によって「第17回定期総会」が開催されました。

来賓には地本、本部ＯＢ会、横浜・東京地本ＯＢ会、美世志会、鉄道ファミリーの代表が参加しました。

また連日地方を駆け巡っているたしろ議員の真由美夫人が疲れも見せず、元気な顔を見せました。

第2部の懇親会には、埼玉シニア連合、浅野目県議も駆けつけました。

発言者は6名でした。

- 沖縄と連帯する旅は大変良かった
- エルダー制度を見直して欲しい
- 退職者にも割引証を出して欲しい

また会場では、退職者連合の「熊本地震カンパ」も取り組みました。

新役員体制
会　長
　橋詰康昭
副会長
　長谷川雄二
　平川昭夫
　佐藤晴夫
事務局長
　大谷和夫

八王子

6月4日12時30分より八王子労政会館第一会議室で、105名の参加者で「第19回定期総会」が開催されました。

総会では「熊本地震」で亡くなった方々に黙祷を捧げてから始まり、来賓には地本、本部ＯＢ会、東京、横浜地本ＯＢ会、自然と人間社の代表が、二次会の懇親会からは大宮の総会から駆けつけた、たしろ議員の真由美夫人も参加しました。

発言者は5名でした。

- 自分が紹介した人には、自分で再度連絡をする
- 地域退職者連合に、新名称で再登録し連携を強めた
- ＯＢ会活動と共に、森びとの活動をやっている

役員体制では事務局長が交代し、新たに工務出身の事務局長が誕生し、新風を吹き込む事になりました。

新役員体制
会　長
　味原　進
副会長
　平井博明
　浅川武二三
事務局長
　阿部得男

横　浜

6月5日の13時30分より、ＪＡさがみ茅ヶ崎ビルの大会議室で、80名の参加者で「第20回定期総会」を開催しました。

総会は、「熊本地震」の犠牲者に対する黙祷と海員組合製作のビデオ上映で始まり、来賓には地本、本部ＯＢ会、東京、八王子、大宮地本ＯＢ会代表に加えて、貨物労組ＯＢ会、エルダー会、自然と人間社、岡田鎌倉市議とたしろ議員の真由美夫人など大勢の人達が駆けつけました。

発言者は4名でした。

- 長期加療中の会員を激励している
- 南相馬市の防潮林植樹に行ってきた
- たしろ紹介者カードの徹底で、会員宅を回っている

役員体制では、工務職場から初めて副会長が選出されました。

懇親会では、真由美夫人を囲んで大いに盛り上がりました。

新役員体制
会　長
　徳永丈男
副会長
　進藤　昇
　神山満明
事務局長
　杉永哲也

わが町の有名人

仙台地本OB会

そば処は超満員

仙台からは、新庄支部の阿部武志さんを紹介します。

阿部さんは新庄運転区の運転士から多能化で新庄駅のそば店長になり、それがそば作りの出発点となりました。

退職後は水と杉の町・金山町の古民家を借りて、そこでそば処「草々」を開店し、近所で「そばのうまい店」と評判になり、暫くして新庄、最上地区のそば組合の会長となって、そば文化の発展に尽力されています。

また、阿部さんは鮎獲りの名人でもあり、年間漁獲量も1000匹という驚異の数字をあげて、金山、真室川の漁業組合の会長にも就任しています。

会長職はまだあり猟銃会長にも就任し、腕前は県大会でも優秀な成績を納めています。

また、スポーツも好きでゴルフは80台、バードゴルフは東北大会に出場して優秀賞を受賞するなどスポーツ万能な人です。

この様に阿部さんは、多くの幅広い人達と知り合い、要職を引き受ける責任感の強い人だから、そば処「草々」は常に、満員状態です。

今後も仲間と手を取り合って「楽しく人生を過ごしていきます」と笑顔で語ってくれました。

（金山町在住・阿部武志・71歳）

【JR総連第32回定期大会報告】

榎本・柳新体制がスタート！

《武井前委員長は顧問に、ＯＢ担当は永島政治部長》

JR総連は6月5日から2日間の日程で、「第32回定期大会」を都内のホテルイースト21東京で開催しました。

来賓には連合の神津会長（二日目）や、交運労協、全自交労連等の多くの来賓と共に、たしろ参議院議員も参加しました。JR総連OB連絡会も三役が招待されました。

総会では各単組の代議員から、「たしろかおる応援プロジェクト」、「16 春闘」、「安全問題」等の取り組みの成果が報告されました。

役員体制では、武井委員長（JR東労組）が勇退され、新たに榎本書記長（JR北海道労祖）が新委員長に就任しました。また新書記長にはJR東労組書記長の柳　明則氏が就任しました。

新　役　員　体　制		
委員長	榎本　一夫	（ＪＲ北海道労組）
副委員長	高木　康之	（ＪＲ貨物労組）
書記長	柳　明則	（ＪＲ東労組）